

学科名称変更について

「機械創造工学科」⇒「ロボット創造工学科」

Department of Mechanical Engineering ⇒ Department of Robotics

令和 7 年 7 月 2 日

この度、学科名称を令和 8 年度より「ロボット創造工学科」に変更を進めています。

本学科は機械と電気電子の融合した学科として平成元年 4 月に工学部「機械電子工学科」として発足しました。その後、平成 20 年 4 月に「機械電子工学科」を「機械創造工学科」に名称を変更し、現在に至っております。本学科では、創設当初より一貫して広い視野で科学技術の現状を捉え、機械設計に必要な基礎知識を教授し、産業の基盤技術である『もの創り』の理解を深め、手法を会得し、創造性豊かな技術者を養成していきました。

ところで技術革新の流れの中で、機械分野の製造業においてロボットの活躍の場が増えています。ロボット技術の活用は、これからの産業の隆盛を左右するキーポイントとなっています。本学科では、前述した教育理念の下、機械工学を構成する基盤技術に立脚して、ものを創生するプロセスを修得することを教育目標としています。『ロボット』というキーワードが『機械工学』に重要であるということから、この度、これまでの「機械創造工学科」の教育理念はそのままに、令和 8 年度より学科名称を「ロボット創造工学科」と学科名のみの変更を行いたいと考えています。

新名称の「ロボット創造工学科」におきましても教育理念や教育目標はそのままに踏襲しつつも時代の流れに対応してゆく所存でございます。皆様におかれましては、今後とも、新たな学科の教育・研究活動に何卒ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、令和 7 年度までの卒業生は「機械創造工学科」の卒業となりますが、令和 8 年度以降の卒業生は、新学科の「ロボット創造工学科」で卒業することになります。

機械創造工学科長 天野 久徳